

# 南山大学社会倫理研究所

## 2002年度第7回懇話会 ■講師 川本 隆史先生■

### 講演の概要

2003年1月24日(金)、南山大学J棟1階特別合同研究室にて開催された社会倫理研究所2002年度第7回懇話会において、東北大学文学部教授・川本隆史先生による「租税と所有の正義」と題する講演が行われた。

現在、年金問題に関して現行では保険制度であるが、税方式を採用するべきだという議論も存在するように、社会的公平を実現するための制度に関わる議論において、租税制度は無視できないものである。その意味で租税は社会的正義の実現と密接に関係している。しかし、財政学、社会政策学などでは、制度論的議論に偏り、租税制度の「規範理論」への取り組みが不十分なままであった。川本氏はロールズ、ノージック、ドゥウォーキン、ネーゲルら、現代正義論の論脈を租税制度の規範理論の観点から読み解き、租税制度が勝れて社会哲学的検討に付されるべき対象であることを明らかにした。(文責 | 小林)

この講演内容は、以下の論文としてまとめられている。

- 「租税の根拠と社会の公正」(『学術月報』第56巻第3号、日本学術振興会、296-297頁、2003年)
- 「卓越・正義・租税——社会政策学の《編み直し》のために」(『社会政策学会誌』第11号、法律文化社、3-17頁、2004年)